第120号 2019年 12 月発行

### ナルク大阪南「いちょうの会」

〒542-0012 大阪市中央区谷町6-4-8 新空堀ビル2階 206-2

TEL/FAX  $0.6 - 6.7 \ 1.0 - 4.5 \ 2.2$ 

E-mail osaka-m.ichou@sky.plala.or.jp

ホームへ゜ーシ゛

**→(** ナルク大阪南

検索

ナ

ルク活動

あ

3

想

UN

出

果めなどの連絡もうまれる。

と待機していた時に、突然「淋しを終えて本人様の隣の部屋でちょっけを正ピソードがあったのです。に見守りだけの方でした。でも、そんな気丈な方でもこんに見守りだけの方でした。に見守りだけの方でした。は自分でゆっくりとではあるけど手動者にも話しておられ、自分でできること待っておられ、自分でできること待っておられ、自分でできることがあっても自分の考えをしっかりとのではあるけど手動者にも話しておられ、自分でできること待機していた時に、突然「淋しておられ、自分でできること特っても自分の考えをしっかりと

れな歳日今にを `てで歳

の生き方の見てともいこともをでいるの一言がられているの一言がられているがら、私自自の見を生まの身をはずりの見ない。ともないない。ともないこともあった。ともないこともあった。ともないこともあった。

るすス暮もがしだれて

方 °マれ人 `いりる全

んいあも まてとは応と顔い 。うのう活し、私おえ問を 突時4動たごは声。う見し 然に年支 本返を「とにと の聞が援 人事掛ま「行大 叫い経を 様しけだあき声 びたちし はまて居ん「が もし帰またど聞 声っまて うたりす居うこ は淋しい 忘したた 笑 °まよたしえ れいが頃 っそす。のま ら か てれか帰!し急 れ!今ら おをらるしたい ましだだ ら聞:時と?で れい「にの」お せとにと

仲村光子(此花区

福

を

お

祈

ŋ

申

上

げ

### 日 路 دۇ. れ あ VI 寄 席 を 終 之 7

くくですが 路 力きも花い議言気 `あら がるのをま員いに第い12 あとでそしのまな一寄年 、えた先すり回席前 て思あて。生がまと いれ頂大が、しいを4 そもかき阪2蓋たう開月 続よらま日名を °こ催29 けり12し日も開案とし日 らま年た新応けずでまに 聞援れるおし第 れせも もにばよ客た一 たんの とで長 取か大りさ 口 感しき 材け入産ん  $\mathcal{O}$ 謝たに につりむの  $^{\circ}\overline{\underline{\mathbb{H}}}$ 来け満が入 て仲り てて員やり 日

 $\mathcal{O}$ い間継 す が

紙

面

でなタ

つは

と談てもま「も回「年私年 て手匠を弟をすね見そ励でい「いも浅や何会たのま関こまの続早れだ市し大当ふ今 いほか紹子叩 °ててのみあたうまうくっやをち長ず係こす協でいてさ会と変日れか まどら介のい桂い練後にのらましえ、て勝しがきはででしき長さ米て米た習プログラスを表しまれた。 では では無かったでした。 では無かったでした。 その折、ボス的でするんやて、は では無かったでした。 をものだったので なものだったので なものだったでした。 では無かったでした。 のは、飛田の「五 には、ボス的 ではない。 ではないったでした。 ではないった。 ではない。 しよう う一おさ 何のな番師の 。と愛せ先分前先し匠が い後言想て輩経で輩でで ろ日っでしは験一が新す57 るし級友ろを

朝よをロ たをいれ紫 一のうかを 受期 `師

け間師匠番門でさ夢

いほか紹子叩

は半葉人本 知世にで真 ら紀従演に 、つじ落 い今たる語 人でよほを ははうう好 無社でがき い会す楽で く人 し演 ら落 いじ `た い語 有家 とい

名と 、ろにりそをて口匠 、サービー・まの始そよか な

こ来いはてお応そタ番人のんっ いとそ嫌、でる、家最よた生には話先とるこ同い客変のはの気演しい次にし落わらのまがのみ天す実本磯後う。や言さし日でよとじまさに場全人投芸、ろになるなるに `ネすん対そら気票会こは 。に処の八者でにのと 出かをす支、場で作す1演はングでは半葉人本 なかじいさ主臨り。番し種ち術い出な処れや機、ネ2、々やの



で他の狗。業業七ににほんわんて腹すう `なに皆家は師`はんかれ`い話 、若ま術 しく方るんす剤は語え見と「いしの たのでこか。師、でまた言あなた話 °出すとら趣で滋っせ目うん、°の な上味お賀ハんもてた幾同枕 。若、何つ級で、 く会言に生 場うなが同 還大てつ「窓 暦爆んた朋会 を笑のんちで 過し、ややの ぎて私しん出 ていらと いま同旧い事

ても者いで筒嫌、でる、家 ま多いなさで薬匠落見まり 関演 く手の店県ナ い落を近コ の恵 何、語2江一 皆ま 時名も軒八を され も人プも幡演 謙と口経かじ んて に継 虚言級営らま にわのさのし 感続 謝す 徹れ実れ出た て力て演井

松 澤 正 勝 西 成 区

### ル バ 1 川 柳 傑 作 選

シ

優た今しれバ 秀 °年て `|全 作こ度公一川国 をこの表万柳有 選で入さ近一料 んは選れいは老 で、作て応、人 み昨品い募毎ホ ま年はまの年し し度会す中敬ム たま報。か老協 で10今らの会 の月年20日が 入号で作に主 選で19品向催 作紹回がけす 品介を入てる かし数選公「 らまえ作募シ

とさル

げ券かな かい

年資三少味妬デ無デ旅い「バ昔誕書歩アオ孫突未改い年

金産回なのまザ病パ行つおラ酒生きこルレ達然練札び上 日込うバオにになをきが く察きあぐ言安逃察にい ら日違り切う え 5 n

んち

4

ボは頃がるいトはトきビいよいロん会ムレア医い通よタ │最か満字妻は話で行りわうま │だアにとド者言れりイナ後ら額との昔題買っ天□枯病ソ予ル遺名レがうず静プ スに光払ほ犬ケにいて国それ院ク定コ影乗ス優がよかだ 無親るうめへ|困物な行のては吹は|用っ聞し地くなけ い戚未散らのキるよいき一もしいすルとてかく震見ほれ のド亡髪れ言で老りのも言妻ごてべ会の妻れなにりうど かッ人代た葉今人もはビではす立てと付に番る先ゃがも 手かく会椅冥リおトるち診聞箋す地不に診気う 子土で得ゲ 探だ良意を しけしさ持

に家忌いあし一で一好も若の のけす 震

孫増 がえ 聞

係者 者に

### 5 2 師ば 走の 歳 時 記 十 電 話 の月 は じ 金 田め 春 彦

む月  $\mathcal{O}$ 古 名 は 師 走 1 7 ワ

などスではち いうと、あで あで つも師と 走読 っ師ち れたはへ僧し はのせ走侶と 無が月りをは `迎 やととこえ年 りだいっての 作つうち仏暮 ったのへ事れ たとを集をで 感い、ま行あ じうなるうっ を説まと。ち まがつい僧で ぬあてう侶も かるシわたこ れがハけちっ

そち「につ「末わるう」や 論いなは なのがさ呼けしのっとと仕は折考てっつ貝いたっつぶては数た、言事り口をシたる原。 言事り口をシたる原 「す目も昔つが「信書への月益 あ大っつ る分てる 県 とにしだ も四はか 例極すら 証山月 🦳 しとしし て書とよ

しれ 一近 しい はも す 0 で、 は

「TITTET TO TET TO TE そ まののう月っし」士でで類点よしたはでにあ 。年終よろ もとでうを

っつぶては数た

るた何くて 今がか故電電東 らな話話京十 だら機番に、が早早 が号最月 とまたが初れた モかと シく 大騒ぎってもをとれているとはないでものであるというでもをとれている。 のるもっけた創 漫相でた日業 た談手立人だの たのが たのが も ろう。 節なかせはあ あったかめる。

とむなよ

でといい

アアで効

11のも

ルルル飲果

中ココむを

をルルはた

招血が禁ら

く中す物す

重「従ののと最のイっ」だ言初は て されたます ぼた

たけ のた は人

での ろ ちは

たりこ でる「ら交 里「ル もまと昔女」おで換電のイっ のすには性と前先手話まフて、 ・デアンの方は局ちイ、 のではない。こうで、「もし私ができるが、」と言ったいができたての番号を申しばれている。 と言ったのが、と言ったのできたでのできたである。 と言ったのが、「もし私ができたでのできたでのできたが、「もし私ができたが、「もし私ができたが、「もし私ができたが、「もし私ができたでが、」ではない。 むん事でというできない。 ではというではない。 ではないできない。 ではない。 ではない。 ではない。 川 町 い う。 い う。 評 かし、 るし、 よ町い 乗でつ 判じ れ乗た がや せも 悪あ ての くか 命くで `lt 令だっ そて

さま

### 健 康 情 報 シ IJ 1 ズ 35 飲 酒

すやでに[健 ビな飲 -一か酒酒 ルではは なもさ百 ど原ま薬 の料ざの 醸をま長 造発な 酒酵健と がさ康い おせ効わ すた果れ す日がる め本期よ で酒待う

能度にそは**全**分り適まネた酒生ス性が体のい生にイ量れラめは活テ醸が真内理さ生合ンとてル学、翌月告 が高内理え生合ンとてル栄、習口造あくに由、活っなさい、養米慣し酒 めくに田 コンACV 食べ頃 III るな吸は食 た本れま肝分と病ルは 収、べお量、てす臓が米予の、さ空物酒をビい。に高こ防酸動 で急れ腹をが楽しるたよくうの化脈で、性るでと体しルーだい、じ効の硬 性るでと体しルーだい、じ効の硬アこ飲らになり中日しペアを果抑化 まび平飲プミ発が制を ん均みチノ酵あや引 よ120過ド酸さり血きう。本gぎな、せま栓起 **〜にどビてすをこ** を日はに夕造 目本注豊ミつ特か悪 安酒意富ンてにす玉 に1しに、い日なコ に1しに白合い合 含ミる本どレ 自合

> 【ツすむルんりくル 類などもおすすめです。 ときは一緒にとりまし の代謝を助ける働きが にく質食品は、肝細胞の ます。また、魚介類、 血中濃度の急激な上 はゆっくり吸収され、 にかっくり吸収され、 B 2 を含むします。 はきがあるので たとよう。 があるので なと昇も起こ なと昇も起こ ないがら飲むし レ代で進豆この バ謝おや腐り負 を酒戸なに担ア や活をルどくもル ナ性楽コのく少コ ツ化し一たななし

ッ 習

れや

。耳会 ン話を話り ります。の内容を理解し、うまの内容を理解し、うま傾けて、お互いに楽しを一方的に話すのではを一方的に話すのでは 知ミと 症ュが相 予二大手 防ケ切の に一で話

力 より

# 俳 句

# 吉 川 美 住吉

区

- 寄 ŋ 来 る 鹿 に 言 葉  $\mathcal{O}$ 壁  $\mathcal{O}$ 散な
- 掃 き 清  $\otimes$ ら れ L 境 内 紅 葉
- 日 恋 S 7 今開 か む と 石 蕗 0 花
- 無 き 石 垣 残 L 仲 冬 村 日 和 光 此

花

区

主じ

岡 安 三 港

区

夜 虫 0 鳴 き 声 な 想 う

秋

 $\mathcal{O}$ 



島村 多恵子 (天王寺区)

### 催 事 等 案 内

## 0 新 わ ::日く 9 12 本わ 店 時間 5 5

合時( 5 11 時

半

- 集日
- 、橋厳

則 写 } イ真地時月銀く レ撮下半13行町 は影鉄一日大中 駅禁淀絶 🦳 阪散 で止屋対金支策 お 済携駅守10訪第 ま帯⑦ せ持地 下込上 さみ出 い不口 可

まう理懇 す <sup>°</sup>を親来 豪食会年 新 をの春 景な予1懇 が 定月親 し26会 て目 楽し 「たるゲ楽しい時 V)\_ ま日 \* 12 時 ĺ 間 ームも円 皆時 でか , , , , , , , , , , , , , , , , , , 意 まし新 L てしい春いよ料の

い詳 細ぜす はひ 次 ご 号 予 に定 記に 載入 しれ まて下 のさ でい 0 会 覧 く場 だ等 さの

# 0

学 、はの日局 2 銀見 局  $\mathcal{O}$ 見

館を ん紙属れ地計に見ガ。幣工、へる へる造も今 ラヘヘ芸硬大た幣来月造 立すスそ日品貨阪め局年の幣 ちる越れ本のの市 としは銀製製北明とに \_ 行造造区治 行造造区治近月見学 もガ国券等を天新代に学の にイ立)を始満政国計に予り、ドロの行為 ド印の行め)府家画引告 構の刷製っ、ににのし続内説局造て勲明よ貨でい 内説局造て勲明よ貨 ではい章治っ幣いて で行行ま・4て制 いっす褒年大度 ごまだび設現立 せし金さ在を

### 教 室 • 同 好 ご案内

# ☆ 室

~ 11 介 時康開お月護 し世か予 分び て 頂の脳 け間ト る休レ 方がみ **運動 数** 1 0 ます カゝ れ ば 再

# ☆ ∃健 :麻

ノー点月月 ク事257 務所 (土) 13 12 時月 半 28 日 5 16 全 時 半

:

12 パ場 月ッ所 教

かチ  $\mathcal{O}$ 休 会し ま

日民

場 所 時 踊

カス了 12 mm 10 mm 12 mm 12 mm 15 後 10 mm 15 後 mm 15 mm 了後「がんこ」(あべのハ70日が最終回になります。5月1日が最終回になります。5月1日(火) 1m 0

会 費 5 0 0

# 日健場日俳 時康所時句 ′好

日 主 10 時 ( 12 時

# : 7 好

拠 1 12 | 拠 12 同 月月ジ点月 事 18 7 ャ 事 21 務日日ン務 (土土同 13 12会 時月 A 5 21 18 日 時

場 所 点

14 時 ( 16 時

会務日

に明

博工

日 月 14 時 ( 16 時

場日絵場日手 所 時 手 所 時 編 ::紙::み 拠 12 同 **好**点 事 16 **好**会

# 場日カ

時 5 18

約ビド13 してい 6天王幸 寺 · 店 ま階

用 . .

費

り再注 まび意 し 場 所 が 変 わ



### 10月度 会員動向

◎ 時間預託活動 時間 71 時間 提供者 20 人 ◎ 奉仕活動 間 260 時間 人

提供者 38 ◎ 会員数 会2世帯2人 会0世帯0人 退 ◎ 月末会員数

175 世帯

221 人

# 拠

土 事 務 曜 ・一所のも 口曜・祝(休)執務時間は 動務時間は (休)日 は、 は、平日 日 おの 休10 みで、 16

1 年 月 末 5 年 日始  $\mathcal{O}$ 日か休 休みは、 までです。 28 日 土 か 5